

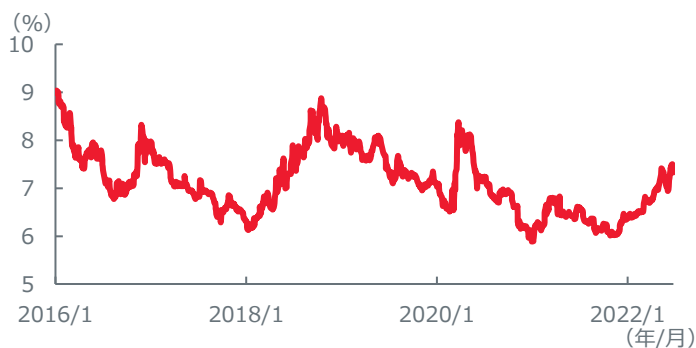
(対象期間：2022/6/20～2022/6/24)

【株式市場】ジャカルタ総合指数の推移
(2016年1月4日～2022年6月24日)

【株式市場】

20日は世界的な景気後退懸念が重しとなる中、銀行などへの押し目買いが入り上昇しました。21日はエネルギーセクターなどがけん引し、ジャカルタ総合指数は7,000ポイント台を回復しました。22日は下落したものの23日はインドネシア中央銀行（BI）の政策金利据え置き発表を受けて上昇しました。24日はBIの同発表を受けた不動産株などが堅調となり続伸しました。インドネシア株式市場は前週末比で上昇しました。

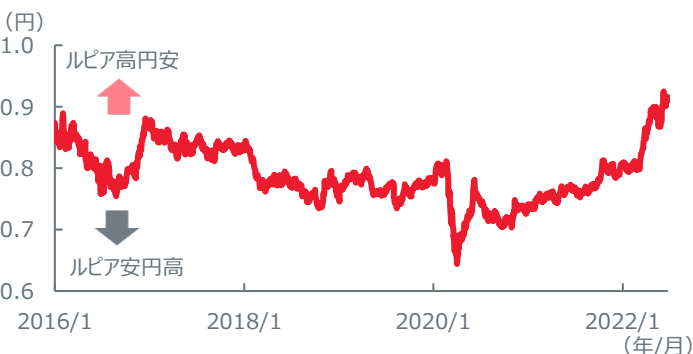
2022/6/17	2022/6/24	変化率
6,936.97	7,042.94	+1.53%

【債券市場】インドネシア本国通貨建て10年国債利回りの推移
(2016年1月1日～2022年6月24日)

【債券市場】

20日のインドネシアの国債の利回りは21日の国債入札を前にして様子見姿勢となりました。21日に行われた国債入札の応募額は発行予定額を上回り、10年債の利回りはやや低下（価格は上昇）しました。22日は翌日のBIの金融政策決定会合を前に様子見姿勢となる中で、長期債への外国人投資家の買いが見られ利回りは低下しました。23日、BIは市場の予想通り、政策金利を3.5%で据え置きました。同発表を受けて、債券利回りは低下しました。24日も利回りは低下し、10年国債利回りは前週末比で低下しました。

2022/6/17	2022/6/24	変化幅
7.479	7.330	-0.149

【為替市場】インドネシアルピアの対円レートの推移
(2016年1月1日～2022年6月24日)

【為替市場】

週初のルピアは、世界的な景気後退懸念が意識される中で小動きとなりましたが、23日はBIの政策金利据え置きを受けて下落しました。BIは金融政策決定会合後の会見で、米国の大幅利上げを受けた足元のルピアの下落について、下落幅は他のアジア諸国の通貨と比較して穏やかであると強調し、外部環境によるルピアの下落については今後も管理可能との姿勢を示しました。ルピアは前週末比、対米ドルでは下落、対円ではやや上昇しました。

2022/6/17	2022/6/24	変化率
0.9086	0.9099	+0.14%

100インドネシアルピアの対円レート

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当資料では、個別企業に言及することがありますが、当該企業の株式について組入の保証や売買の推奨をするものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャル・アシアランス社とは関係がありません。